

7月27日開催 分科会（第1回）の補足

「令和5年度 新宿区地域公共交通会議 第1回での会長・副会長発言録」

開催日時 2023/06/20 09:30-11:30

3 議題

（4） 新しい地域交通の導入に向けた検討について

〔鈴木会長〕

最初の説明の段階ではAI オンデマンド交通がかなり頭にでてきていますが、私はそれは入り口で良いと思っています。

つまり、AI オンデマンド交通が適しているかどうかということは、分科会の中で具体的に議論するなかで、本当に適しているのか、あるいは事業として成り立つのかどうか、これは非常に大切なことで、新宿区の方針は基本的に事業として成り立たせていくということです、そのために何が必要かといった議論がこの分科会のなかでは確実に入ってきます。そうなったときに、今の限られた資源のなかでどうすれば地域にとって良いものができ、また事業として成り立つものができている、かなり重い議論になるかと思いますが、そういった議論をきっちりとしていったうえで、最も適した手法をその新しい地域交通としてつくっていきたいというふうに思いますので、今後分科会のなかで議論させて頂きたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

〔牧村副会長〕

これから検討するにあたって、先ほどうまくいかなかった事例というお話がありましたが、これはすごく大事だと思っています。新しい技術が出てきて3～4年程度と認識していますが、やはり地域の交通事業者さんにとって、自らやっていく価値があるかどうかが一番大事なことだと思っています。そういう可能性があるかどうかということを、これまでは民間の力で常に交通サービスをつかってやってきたというなかで、今回は行政と一緒にできないかというラブコールがあったというように考えており、官と民が一緒にやって、新しい新宿の価値、例えば、そういうサービスがあったら、もしかして働く人が増えるかもしれない、その新しいサービスをやっていて魅力的だから、この業界に就職しようという人が増えるかもしれない、今本当に大変な状況なので、そういう可能性を、本当に小さな可能性かもしれませんが、今回区長自らそういうことをやっていくと宣言されていますので、プロフェッショナルの皆さんのこれまでの経験や力などをお借りして、良い答えを一緒に見つけていければと思っていますので、よろしくお願ひいたします。